

保健のしおり

青山こども園

当園では「子どもの最善の利益」を大切にしています。皆様の大事なお子様をお預かりする上では、園と保護者の間に長期にわたる信頼関係を構築していく事が必要と考えております。つきましては、集団の中でお子様をお預かりする基本として、以下の点をご理解ください。

<ケガについて>

当園では、子ども達がそれぞれ関わり合いながら、様々事を試し、興味を広げ育っていく場所です。活動に伴うケガ、関わり合いに伴うかみつきやひっかき、ケンカなどがおこります。又、保育者は子どもとかかわり、育ちを促す事を役目とし、子ども一人ひとりに保育者1人がついていてはなりません。ケガを予防できないことも多々あり、子どものケガが起こる状況すべてを常時、保育者が把握できるとも限りません。

<保育中ケガをした場合>

- ・保育中のケガは看護師、または保育教諭が対応致します。
 - ・病院受診が必要な場合は保護者連絡の後、園医又は医療機関へ受診します。
- ※保育中のケガで医療機関を受診した場合は、日本スポーツ振興センター災害共済の適用となりますので職員室までご連絡下さい。

<体調について>

(2)お子様をお預かりする上で、家庭での発熱、嘔吐下痢などの体調不良や内服、ケガ等はコドモンへの入力、または保育者へお伝え下さい。
※些細な事でも構いません。お子様をお預かりする上でとても大切な情報となりますので必ずお伝え下さい。

<保育中体調不良になった場合>

- ・保育中の発熱や体調不良につきましても、コドモンや電話等で随時連絡させて頂きます。
 - ・発熱のみの場合、38.0℃を目安にお迎えの連絡をさせて頂きますが、感染症の流行状況などを踏まえ、38.0℃に達する前にご連絡させて頂く事もあります。
- 又、嘔吐・下痢・活気のなさ・機の悪さなど、明らかに通常時と違う場合もご連絡させて頂きます。
- ※緊急を要する場合がありますので、緊急連絡先には必ず連絡の取れる電話番号を記載して下さい。

<体調不良後の登園について>

- ・体調不良時のご自宅での療養が早期回復につながりますので、症状が落ち着いた状態を丸一日確認してから登園してください。
- ※体温だけにとらわれず、症状、活気、機嫌などを考慮し、全身状態が良好な事をご確認下さい。

<感染症について>

(3)各種感染症については、厚生労働省が定める「感染症ガイドライン」をもとに対応します。
こども園は集団生活の場であり、飛沫・空気・接触感染を予防することは困難ですが、換気
手洗い等で感染機会を減らす取り組みを行っています。
感染機会を減らし、重篤化を防ぐため体調不良時は早めに受診する、家庭で過ごす等
をお願いします。

<登園許可（登園届）について>

- ・別紙の感染症一覧を元に必要に応じた物を登園時ご持参ください。
登園届・・・かかりつけ医の指示に従って保護者が記入して下さい。

<薬について>

(5)児童への投薬は法律の定める「医療行為」に当たる為、原則行えません。
病院受診の際には、こども園に通っていることを伝え、可能な限り保育中に服薬せずに済む
処方依頼をお願いします。
※慢性疾患や、医師の指示により保育中の内服が必要な場合は「こども園教育・保育要領」に
従い、対応致しますので事前にご相談ください。
※風邪薬などは対象外となります。

<個別対応について>

(4)慢性疾患や食物アレルギーなど、こども園での特別なケアが必要な方は職員室までご相談
下さい。

<持ち物について>

(6)こども園では食物アレルギーのあるお子様もいます。誤食を防ぐ為、園敷地内への飲食物は
持ち込まないで下さい。
※持ち物の水筒は除く

(7)リップクリーム、ハンドクリーム等は園児が管理することが難しく、紛失や取り違えが
おきますので持たせないで下さい。
※保育中の痛みや出血がある場合は園内の物を使って対応します。
※病院で処方され、定期的に塗布する必要がある方はご相談下さい。

吐物や下痢などで汚れた衣類の持ち帰りについて

嘔吐物、下痢便の中には感染力の強いウイルスが含まれている可能性があります。洗うことで周囲や保育士の衣類に飛び散り汚染を広げてしまうことになります。保育園での集団発生を予防するために園内では洗わずに持ち帰りとなります。持ち帰りした洗濯物は消毒してから単独で洗濯をしてください。子どもたちが安全に生活できるようにご理解、ご協力をお願いします。

汚れた衣類は・・・

保育園で用意した蓋つきのバケツに入れてそのまま持ち帰りとなります。
バケツは消毒をして翌日返却して下さい。



消毒液の作り方

汚物の処理用(0.1%) 500mlのペットボトルにキャップ2杯	衣類のつけ置き(0.02%) 2Lのペットボトルにキャップ2杯
-------------------------------------	------------------------------------

消毒方法

汚物の中にはウイルスや細菌が入っている場合があります。正しく処理をして感染を防ぎましょう。

汚物の除去



消毒



洗濯

- ①汚物の取り扱い時は使い捨ての手袋、マスク、エプロンなどを着用し直接接触ないようにしましょう。
- ②ペーパータオルなどで汚物をふき取りビニール袋に入れ密閉して捨てる。
- ③バケツや洗い桶で水が飛び散らないように静かにもみ洗いをする。
- ④(漂白されてもよい物)200ppmの次亜塩素酸ナトリウムに30～60分浸す。
- ⑤他の洗濯物と分けて単独で洗濯をする。